

## 定期的な乗り入れ授業 実施結果

= 平成 24・25 年度試行事業 =

小学 6 年生 算数 (旭丘小・旭丘中)

小学 6 年生 体育 (上石神井小・上石神井中)

小学 6 年生 外国語活動 (上石神井小・上石神井中)

小学 6 年生 算数 (八坂小・八坂中)

平成 26 年 6 月

# 1 事業の概要

## (1) 試行実施の理由

従来から、中学校教員が小学校教員と一緒に小学生を指導する乗り入れ授業については、中学校の定期テスト期間中の午後などを利用して散発的に実施されてきた。

中学進学への不安の緩和および学習意欲の向上を図るため、平成 24・25 年度試行事業として、中学校教員が定期的に小学生を指導する時間を確保するため、乗り入れ授業を定期的に実施する 3 中学校に、区費で時間講師（非常勤）を配置した。

## (2) 試行実施校など

実施校	教科	乗り入れ実施時間(週)	講師配置時間
旭丘小学校 旭丘中学校	算数	1時間×2人 1学級2展開の少人数グループに 1人ずつT1で乗り入れ	3時間
上石神井小学校 上石神井中学校	体育 外国語活動	体育:3時間×1人 外国語活動:3時間×1人 3学級に1時間ずつT1またはT2 で乗り入れ 区費講師の配置は体育のみ	6時間
八坂小学校 八坂中学校	算数	3時間×1人 2学級3展開の少人数学級のいづ れかにT2で3時間乗り入れ	4時間

## (3) 試行実施に係る経費

区費講師の報酬（1時間あたりの単価：2,690円）

平成 24 年度 1,328,860 円（加配時数 494 時間）

平成 25 年度 1,215,880 円（加配時数 452 時間）

計 2,544,740 円

## (4) 具体的な試行内容

### ア 旭丘小学校・旭丘中学校

旭丘小学校 6 年児童が、通常どおり登校後、担任の引率により旭丘中学校に移動し、中学校教室にて、中学校数学教員から授業を受けた（45分授業）。

旭丘小学校では、通常は、1 クラスを 3 グループに分けて担任・少人数指導のための加配教員・学力向上支援講師が指導している。乗り入れ授業の実施にあたり、週 5 時間の算数のうち 4 時間は、通常どおり 3 グループに分けて授業を実施し、乗り入れを行う 1 時間は 1 クラスを 2 グループに分けて、中学校教員が主たる授業者

として学習指導を行った。

乗り入れ授業の回数、グループ分け、主たる授業者の状況を踏まえ、「文字と式」「比と比の値」「比例と反比例」の単元を乗り入れ授業で指導することとし、小学校担任は他の単元を並行して指導することとした。

#### イ 上石神井小学校・上石神井中学校（体育）

上石神井中学校の保健体育科教員が週1回、上石神井小学校で、小学6年生担任とともにチームティーチング（TT）を行った。中学校教員が連続して指導に入れるよう、6年1組から3組の体育授業が連続するように時間割を調整した。また、乗り入れ授業は、原則としてすべて体育館での授業とした。

初年度（24年度）は小学校担任を主たる授業者とし、模範演技や技術的な指導を中学校教員が支援した。年度末のバスケットボールの授業については、中学校教員の専門分野だったこともあり、中学校教員が主たる授業者で指導した。

2年目（25年度）は年間を通して中学校教員が主たる授業者として指導した。乗り入れ授業に先立ち、中学校教員が作成した学習の流れを記した学習指導案（略案）を小学校担任と共有し、必要に応じて打合せを行った。

#### ウ 上石神井小学校・上石神井中学校（外国語活動）

上石神井中学校の外国語科教員が週1回、上石神井小学校で、小学6年生担任・外国語活動指導員とのチームティーチングにより指導を支援した。上石神井小学校では、6年生の1組から3組の外国語活動が連続するように時間割を作成し、中学校教員が連続して指導に入れるようにした。

中学校教員は通年で補助的な授業者（主たる授業者は小学校担任または外国語活動指導員）として参加し、主に会話練習の場面などで、見本となる会話のやり取りを聞かせたり、児童の会話練習の相手を務めたりした。

外国語活動指導員の出勤日等が限られていることから、担任、外国語活動指導員、中学校英語科教員3人での打合せについては、特別に時間を確保することは困難であったため、授業前や授業後に短時間で打合せを行った。

#### エ 八坂小学校・八坂中学校

八坂中学校の数学科教員が週3回、八坂小で、2クラスを3つのグループに分けて小学6年生担任または少人数指導のための加配教員とのチームティーチングを行った。

年度の前半は、3つのグループを巡回して授業の様子などを観察した。後半は、単元によって主たる授業者として指導することもあった。

2年目（25年度）も、基本的に中学校教員は補助的な授業者として参加し、後半の1回のみ、主たる授業者として指導を行った。

## 2 検証アンケート結果

試行事業の効果や課題を把握するため、学校を通じて、乗り入れ授業を受けた児童、乗り入れ授業を受けた児童の保護者、乗り入れ授業を受けた児童が主に進学した中学校1年生、乗り入れ授業を実施した小中学校教員にアンケートを実施した。

### (1) 乗り入れ授業を受けた児童の感想

旭丘小学校・上石神井小学校・八坂小学校の6年生に、1年間、乗り入れ授業を受けた感想として当てはまるものを選んでもらうとともに自由記述で感じたことを書いてもらったところ、24年度・25年度ともに過半数の児童が「楽しい」「わかりやすい」と答えた。また、4割以上が「勉強についていけるよう頑張ろうと思った」(上石神井小学校での質問は「中学に行ったら英語を頑張ろうと思った」と答えており、体育で乗り入れ授業を実施した上石神井小学校でも、4割以上が「体育でどうすればできるようになるか教えてもらえてよかった」と答えている。

自由意見では、中学校の授業などに関するイメージがもてるようになり不安が減ったなどの意見が多く見られた。

	楽しい	わかりやすい	難しい	中学の先生を身近に感じるようになった	体育でどうすればできるようになるか教えてもらえてよかった	勉強についていけるよう(中学に行ったら英語を)頑張ろうと思った
24年度(n=213)	53%	69%	21%	26%	45%	46%
25年度(n=191)	53%	57%	14%	29%	42%	43%

最初は不安だったけど、慣れてくると楽しく感じられた。中学校の環境にも慣れてよい経験になったと思う。

中学校で授業を受ける感覚がわかった。

私は違う学校に行くけど、中学に対しての不安が少しへってよかった。

中学校の様子を知ることができてよかった。勉強はむずかしくなると聞いたから少し不安だけど、しっかりがんばっていきたい。

中学の勉強をして、スピードが速いから中学のスピードの追いつけるように、がんばろうと思った。

いつもプリントだけだから、たまにノートをつかってほしい。

体育でコツなどを教えてくれたので、できないときもできるようになった。

体育、英語に限らず、中学校も小学校と同じようだと思い不安がなくなった。他の

科目もこういう形があればいいと思う。

5年生や4年生のときから中学の先生と関わりをもてるようにすればいいと思う。

スピードが速かったけど、むだがなくてわかりやすかった！

教えるスピードが速いといっても、丸つけるまでの時間が短いという意味。ときばき決めてくれるから、目標に向かってがんばれた（〇時〇分までとか）。同じところは略すとか、大切なことは繰り返すとか。

授業のスピードは速いが、中学についてのことが少しわかるようになった。

黒板に文字を書くのが速くてすごいと思った。

## （2）乗り入れ授業を受けた児童の保護者の意見

旭丘小学校・上石神井小学校・八坂小学校の6年生の保護者に、乗り入れ授業に関する意見として当てはまるものを選んでもらうとともに自由記述で感じたを書いてもらったところ、24年度・25年度ともに「乗り入れ授業を良いことだと思いますか」の問に対して、9割以上の保護者が「とても思う」「まあまあ思う」と答えた。「乗り入れ授業で中学校入学への不安が軽減された(される)と思いますか」の問に対しては、6～7割の保護者が「とても思う」「まあまあ思う」と答えている。

自由意見では、安心して中学生になれる、他の教科でも取り入れてもらいたい、などの要望のほか、中学校選択制や中高一貫教育と小中一貫教育との関係について疑問も寄せられた。

24年度(n=125)	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない	わからない 無回答
乗り入れ授業を良いことだと思いますか	46%	46%	2%	0%	6%
乗り入れ授業で中学校入学への不安が軽減された(される)と思いますか	14%	46%	26%	7%	6%

25年度(n=108)	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない	わからない 無回答
乗り入れ授業を良いことだと思いますか	53%	44%	2%	0%	2%
乗り入れ授業で中学校入学への不安が軽減された(される)と思いますか	14%	59%	23%	3%	1%

## 保護者からの肯定的な自由意見

中学での授業は、先生や学校に慣れることで不安なく中学へ入る準備ができていると思う。わからないことは帰ってから復習して、次週までに理解しておかなくてはと、いつもより気持ちが入っているようだ。これからも続けてほしい。

中学生のお友達もできたりして、姉妹以外のお姉さんの考え方等を知ることができたおかげで、子供が年上を怖い等思わず安心して中学生になれると思う。子供同士の関わりを持てたらよいのではないかなと思う。

兄姉がいなければ中学校に足を踏み入れることすらないので、週に一度、授業を受けに行くことで不安等はかなり軽減されていると思う。とてもよい試みだと思う。娘は私立受験をしたが、乗り入れ授業の際に、私立校の過去問を先生がプリントで出してくださったのが面白かったし、とても勉強になったと喜んでた。私立校への道を選んだが、日頃の生活の中では、乗り入れ授業のおかげで、旭丘中に入ることや中学校生活ということに関しては、前向きな気持ちでいられたようだ。

中学校で授業を受けることで、小学校とは違うということが分かって良いと思う。本人は、緊張感もあるのか、しっかりと授業を受けている様だ。

小学校と中学校が連携・協力して子供たちを教育することは良いことだと思う。今後続けていくことで、子供たちが中学へ進学したときに継続した教育ができれば、素晴らしいと思う。

中学校の先生が授業をすることで、中学校入学への子供の不安が軽減されるとはあまり思わないが、小学生の理解力、算数の能力を中学校の先生が把握し、中学校で工夫された授業を行い、子供たちの興味が湧く学習ができると思う。

小学校の先生も中学校の先生も、地域の子供たちを知っているということは、子供たちにとって心強いことだと思う。道徳的な意味では、とても良いと思う。

中高一貫教育が取り沙汰されている中、なぜ小中一貫教育なのかと思った。しかし、小学校算数から中学校数学へとスムーズに移行させる取り組みはよいと思う。

## 保護者からの要望

算数の授業だけでなく他の授業も受けさせてもらいたい。乗り入れ授業も興味があるので、参観の機会があれば行ってみたい。ちゃんと授業についていけているか、気になるので、中学の先生方からの感想も聞いてみたい。

体育ではなく、他の教科、英語なども進めていくと良いと思う。

連続した視点をもって、学習面で強化してほしい。例えば、少し先取りした授業を行うなど可能であれば取り組んでほしい。さまざまな課外活動やクラブなども可能なかぎり一緒に行うことで、すんなりと中学生生活になじめるのではないかな。

小学校の先生とは少し違ったやり方で教えてくれたりするらしく、緊張感も程よくあって、子供にとってはいい経験だったと思う。その時教えてくれた先生が、中学で担任になったり、授業を受け持ってくれるとより意味のあるものになると思う。

○授業内容にもよるが、うちは勉強ができる方ではないので、中学の授業をやるより

も、小学生の授業内容をもっと徹底的にやってほしい。

○数学だけでなく、英語に関しても、より中学での学習がスムーズにできるよう（アルファベットの大文字小文字がかけるなど）になっていると不安軽減につながると思う。英語も少しずつドリルなどで進めていたらよかったと思う。

中学校の先生が小学校に来校されることも必要だが、小学生たちが自分の進学する中学校に出向くことを年間を通して数回予定に入れられるとよいと思う。

#### 保護者からの疑問

小中一貫教育は良いと思うが、練馬区は中学が選択できるため、選択希望者にとってのメリットはわからない。

少し心配なのは、小学校と並行して二種類のことを習うのは大変かなと思う。

学力的な面では、都でも中高一貫教育を進めているなか、小中一貫を進めることで、どのようなメリットがあるのか、あまりわからない。

#### (3) 新中学1年生へのアンケート

旭丘中・上石神井中・八坂中の1年生に、中学進学や中学での勉強について不安を感じていたかなどについてアンケートを取り、乗り入れ授業を受けていた生徒（旭丘小・上石神井小・八坂小出身者）と、乗り入れ授業を受けていなかった生徒との回答を比べたところ、下表のとおりであった。

「進学への不安」の項目では、「とても思う」「まあまあ思う」の合計が、乗り入れ授業を経験した生徒も経験しなかった生徒もともに、24年度は62%、25年度は63%で差がなかった。「中学の情報」については、「とても思う」「まあまあ思う」の合計が、24年度は、乗り入れ授業を経験した生徒は81%、経験しなかった生徒は82%、25年度は乗り入れ授業を経験した生徒は80%、経験しなかった生徒は71%であった。

自由意見のなかでは「不安が少なくなった」などの意見が数多くみられた。

25年度 (n=265)	乗り入れ 授業の経験	とても 思う	まあま あ思う	あまり 思わない	思わない
小学校のとき、中学校に進学することは不安でしたか	経験あり(n=150)	17%	45%	25%	13%
	経験なし(n=115)	14%	48%	29%	9%
入学前に中学校に関する情報は十分ありましたか	経験あり(n=150)	28%	53%	13%	4%
	経験なし(n=115)	20%	62%	13%	4%

26年度 (n=249)	乗り入れ 授業の経験	とても 思う	まあま あ思う	あまり 思わない	思わない
小学校のとき、中学校に進学することは不安でしたか	経験あり(n=134)	10%	53%	24%	13%
	経験なし(n=115)	15%	48%	23%	14%
入学前に中学校に関する情報は十分ありましたか	経験あり(n=134)	14%	66%	16%	4%
	経験なし(n=115)	19%	52%	23%	6%

#### 乗り入れ授業経験者の主な自由意見

中学校での授業のスピードがわかっていたので、中学に入ってもあまり速いと感じなかった。

中学校の授業の雰囲気や教え方などがわかったので、中学校に入ってから落ち着いて授業を受けることができた。

中学校の授業のスピードに早く慣れることができた。

小学6年生のとき、中学での勉強はどんなのかなと不安があったけど、こんな感じなんだなと思い、すんなり中学生になれた。

小学校と中学校の授業の違いが分かってよかったと思った。

中学の授業のことが分かったから、中学の準備や予習ができた。

中学の先生から「今はこんなことをやっているけど、中学に入ったらこんなことをやるよ」と教えてもらえた。

体育は知っている先生だったので、中学に行った時すごく安心した。知っている先生がいると不安が少なくなるので、中学の先生が来てくれることは、とてもいい。

来てくれる先生を通して中学校の情報を得ることができた。

先生との交流もあり、中学校生活への不安がやすらいだ。

知っている先生がいるおかげで、不安などをしっかり伝えられて楽しく学校生活が送れた。

中学に入る前にアルファベットが覚えられた。

#### (小学校と中学校の授業の違いに関する感想)

中学の先生は、要点だけを教えて、例題や練習問題を必ずやっている。

中学では、小学校とは違い、授業と休み時間の切り替えがしっかりしている。

黒板に書くスピードがすごく速い。黒板をすぐ消す。

話すのが速い。

中学では、わからないところがあっても次に進む。

授業スピードが速くなった。中学では、どんどん先に進む。

小学校は、同じことを何度も何度もくり返しやっていたけど、中学は2回か3回で次

のことに進む（その方がよい）。

小学校の算数では、ほぼ毎回、電子黒板を使っていたが、中学校の数学では先生の話と黒板だけになった。手を挙げて自分の意見を言える機会が多くなった。

数学がレベルにあわせての少人数クラスではない。中学ではあまり教科書を見ない。ノートをとる量が小学校の時と比べて少ない。授業後の宿題が小学校と比べて多い。小学校よりも、一つ一つの説明が詳しい。

教科ごとに先生がいろいろ代わって大変。

小学校の先生は甘い言い方で注意をしていたから、誰も言うことを聞かなかったけど、中学校の先生はきっぱりと言うから、先生の言うことを聞く人が多い。

生徒に対しての怒り方がきつい言葉になった。

#### （４）乗り入れ授業を担当した教員の意見

乗り入れ授業を担当した中学校教員および小学校担任に対して、本人からの聞き取り、管理職を通じた聞き取り、アンケート記述などの方法で感想を聞き取った。

#### 【中学校教員】

##### 乗り入れ授業の成果

乗り入れ授業の実施によって小学校の既習事項を理解できたり、中学校での教え方が丁寧になったりした。

来年、中学校に進学してくる子供たちの学力や生活面の実態、小学校での学習内容が把握できた。

小学校教員の算数に対する考えや指導方法を把握できた。

小学校での丁寧な指導がととも勉強になる。教具の使い方やできない子への対応など、中学校における指導の参考にもなった。

通年で小学校の授業に参加することで、小学校での外国語活動の内容が把握でき、小学校教員の教え方が理解できた。

算数的思考と数学的思考の違いを理解でき、どのような考え方を教わって中学校に進学してくるかを把握できたので、自分自身が中学で授業を行ううえで大変勉強になった。

##### 課題と感じる点

中学校教員として、中学校の生徒に教える時間を少なくして小学校の児童に教えること、週5時間ある算数の時間のうち1時間だけを中学校教員が教えることに

無理があると感じる。行事や祝日等で何週も空いてしまうことがあり、学習内容が定着しにくい。

上履きの履き方や持ち物・忘れ物の扱いなど、小学校と中学校ではルールが違い、生活指導の観点の違いを埋められなかった。

評価をどのようにすればよいか、小中の打合せができなかった。

教材、教具の準備も含め、授業準備が非常に大変であった。

担任の先生は2校時の授業（乗り入れ授業の次の時間）があるため、担任の先生とは打ち合わせができない。

せっかく授業をしても、ほとんどの生徒が私立や他校へ進学してしまう。

## 【小学校教員】

### 乗り入れ授業の成果

乗り入れ授業の実施によって、各学年で教えるべき指導事項が明確に理解でき、自身の授業での教え方や意識が大きく変わった。

中学校教員の板書の仕方やノートのとらせ方、発問を通した授業の組み立て方などが、自身の授業にとっても役に立った。

単元の授業構成や1単位時間の指導課程などについて、より効果的な方法を知り、授業改善につなげることができた。

中学校教員の専門性に裏付けされた教材観や指導技術、英語の発音・発声、知識量などの面で参考になった。

中学校教員が小学校に来ることで、中学校の様子を理解することができた。

中学校教員に小学生の学力や生活面の実態を理解してもらえた。

自分自身、英語が得意でないので、代わりにたくさんの英語を話してもらえてとても助かった。指導案や教材でもたくさんアドバイスをもらった。

中学へのつながりを強く意識するようになった。

中学校教員がいることで、子供たちの興味・関心が高まり集中力も高まった。

### 課題と感じる点

体育館の割り振りや小・中学校の行事の調整など難しい面があり、負担が大きい。

小学校の外国語活動から中学校の英語へのつながりについて、小学校担任と外国語活動指導員、中学校英語科教員で協議できる機会がもっとあるとよい。

外国語活動と英語は同じようで違うものだが、英語の観点で系統立てて計画できる部分がある。接続を見据えた指導計画づくりができればよい。

T2で乗り入れてもあまり効果はないと思うが、主たる授業者で入ることは時間

割上難しい。乗り入れの方法を改善していかないと、負担の割に意味がうすい。中学校教員が来年度入学する児童の実態を知ることが目的ならば、来年度中学1年の担任になる予定の教員が乗り入れることがよいのではないか。

#### (5) 乗り入れ授業担当者以外の教員の感想

乗り入れ授業の実施によって、学校全体の連携が進んだかどうかを確認するため、平成24年度は乗り入れ授業を実施した3校の中学校(旭丘中・上石神井中・八坂中)教員、25年度は乗り入れ授業を実施した3校の小学校(旭丘小・上石神井小・八坂小)教員を対象にアンケートを実施した。

24年度 (n=46)	とても 思う	まあまあ 思う	あまり 思わない	思わない
乗り入れ授業によって、相手校に関する情報が得られやすくなりましたか	4%	30%	46%	20%
乗り入れ授業によって、学校全体の小中連携が深まったと思いますか	4%	57%	22%	13%

25年度 (n=33)	とても 思う	まあまあ 思う	あまり 思わない	思わない
乗り入れ授業によって、相手校に関する情報が得られやすくなりましたか	6%	30%	42%	19%
乗り入れ授業によって、学校全体の小中連携が深まったと思いますか	6%	42%	36%	15%

#### 乗り入れ授業者以外の自由意見

中学校教員から卒業生の様子を聞いて、小学校でやるべき課題がみえた。

中学校に小学生の実態をみてもらう方法としても良いと思うので、改善策を考えながら継続していくとよい。

乗り入れている中学校に進学しない児童が多く、魅力を感じる取組を再考する必要がある。

中学校に入学する際の緊張感がなくなってしまう懸念がある。

受験を考えている児童にとっては、多くの練習問題や難問にチャレンジできて楽しそうであったが、基礎が定着していない児童はノートをとるだけになってしまっているように感じた。

6年生担任しか関わらず、その他の学年の教員には、よくわからなかった。